

# 加速する“4K・HDR”

## ～高精細画像の行方～

開催日 : 2016年3月18日(金)

会場 : (株)CBCテレビ 本館 第3集会室

定員 : 約80名予定

時間 : 第1部 午後1時30分～午後4時50分  
: 第2部 午後5時30分～午後7時30分

### ■ 第1部

① HDRの概要と制作ワークフロー 13:30～14:30

講演者: 服部高行 ソニービジネスソリューション(株)

広いダイナミックレンジ、広色域を実現する事は4Kとならび、高画質化を実現する重要な要素。HDRの概要、規格化動向や事例をご説明する。

② HDRの階調圧縮とLUCOREの技術紹介 14:45～15:35

講演者: 石井亜土 (株)IMAGICA

HDR映像のモニター表示の拠りどころとなる標準規格SMPTE ST 2084が定義する広い階調空間の扱いについて、IMAGICAが携わってきた広色域(WCG)とHDR映像による知見と、昨秋発売されたUHD/HDR評価映像 LUCOREのデモを見ながら解説する。

③ スポーツ・ライブ中継にみるHDRの制作事例 15:50～16:50

講演者: 今井 豊 スカパーJSAT(株)

HDRの試験収録や生中継の映像伝送などを実施し、HDRについて意欲的な取り組みを行っているスカパーJSAT。これまでの取り組みやライブ収録の実例やポイント、HDR映像の魅力についてご紹介する。

④ 映画撮影とHDR

17:30～19:30

講演者： 撮影監督・**会田正裕** (株)アップサイド

映画の撮影監督(カメラマン) 代表作「**相棒**」は現在もTVシリーズ継続中。「**相棒 - 劇場版III**」(監督:和泉聖治、撮影監督:会田正裕)は、全編をCineAlta 4K カメラPMW-F55のXAVC 4Kを使って撮影した。他「**HOME 愛しの座敷童**」「**海難1890**」など。

**会田：** 4Kという高精細映像は3Dとは異なり、必然性を持った**進化**だと、私は考えています。HDR技術を得てその進化は更に**加速**し、今や**4K本来の高画質**を実現しようとしています。予算とワークフローの面で敬遠しがちだった4Kも、**経験と発想**でハードルは乗り越えられます！



**SONY【4K・HDRサンプル動画】**は会田監督が企画・制作した。その本人から、映像表現の行方を思う存分語っていただく！高精細にとられない画作りは、4K制作を目指すクリエイター、カメラマンにとって貴重な示唆に富んでいる。

